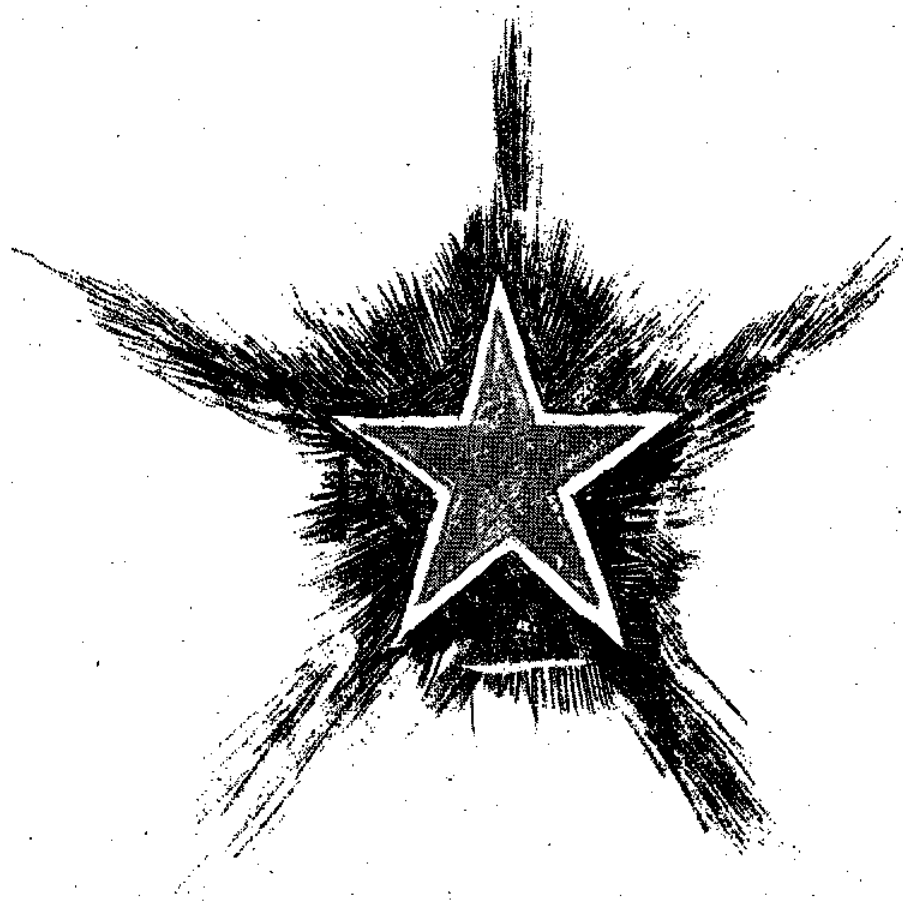


自  
編

# えとら

合冊版

1972年12月25日 → 1973年1月4日



禁崎越冬対策実行委員会内  
刊 えとら社

# 冬をみんなが 乗り切ろう

★ 全部の責任は行政や

ことしも冬が来た。釜で働く俺達にとっていやな季節だ。そして、毎年毎年、俺達の仲間が三百人も行き倒れて死んで行くことを、俺達はよく知っている。なんで俺達の仲間が死なねばならんのか。そして大や猫並みに、その死体をすてられねばならんのか。よく考えてみなあかん。

俺達は労働者や。俺達が働かなければ、それこそビルも道路もできやしない。しかし、冬には俺達は仕事に行くこともできませんようになる。そやけど、仕事がないのは「冬」という季節が悪いのやない。そんなことは当りませや。「冬」になれば仕事はなくなり、仲間が死んでいくというのを、俺達はあたりまえのことにしてしまった行政は何とんでもない。

俺達は何度も何度も、行政に対して「何とかしろ、何とかしろ」と言ってきた。しかし行政は何と俺達に答えたか。「貯金もせず、酒を飲んで、勝手に死んでいく人間を、なんで行政がその尻ぬぐいをしなければならぬのですか」などとぬがしよった。それが、革新、革新といひ、労働者の味方みたいな顔している知事栗田以下、全役人の考えや。

そして曲成層は何を、しているか。めつべは、商店の

カンを集めていた仲間を連れこみ、俺達の命のかけた、越冬対策を妨害しにかかったではないか。要するに口ウなことをせんのか。

★ みんなの力で、俺達の正月を

昨年も吹き出しをやり、一日三百人も仲間がテント村で正月をすごした。今年は今日からテントを張り、吹き出しをはじめ、色々な後しを考えている。すでに二〇日から、青カンをしている仲間が死なないために、パトロールをはじめている。

今年はまだ仕事があるせいか、青カンをしている仲間も昨年より少し多い。しかし大層なことは、青カンをせねばならない仲間がいる現実を少しも良くしようというこやないやるか。それは釜で働く者の仕事やろうと願う。

何もしな行政に抗議し、そして俺達自身の力で仲間を救おう。釜の生活は、そういう立場にいつ自分が立たされるかわからない。つまり、他人を救うことは、自分を救うことにつながる。そしてそこから、釜で働く仲間すべてに共通する連帯と団結が生まれていくのところがうやるか。越冬対策は、一部の者のおめぐみなんかとはちがうのや。みんなの力で「越冬」を成功させ、きびしい冬を乗り切ろう。

## もよお 催しものあんない

### 文化 体育

俺達は、俺達のため正月を創り出そう。今までの正月の中で、

一人の酒を飲むだけの正月だった。昨年は、もちつきやなんがをやった。今年はもっとできるや。

26日 映画(テント村、午後七時)

28日 映画(テント村、午後七時)

29日 サッカー(午後一時)

30日 ソフトボール(午後一時)

31日 のど自慢(三角公園、午後七時)

1日 もちつき(テント村、午前10時)

2日 すもも(テント村、午後一時)

3日 ソフトボール(午後一時)

### ウランミハラサデオクバキカ

#### 集中医療相談受付

※ソフト、サッカーは場所未定。四條ヶ辻公園集合。  
私たちが医療を考える会は、越冬テント村で、集中的に「医療相談」をうけつけます。

これ以上殺られつづけないために、俺たちの生命は俺たちを守る。そのためには、仲間みんなの知恵と力を結集させることが必要なのだ。体のことも病院へ行った時に、困ったこと・くやしかったこと・腹の立つことを教えて下さい。共に考え、共に解決していきましょう。

(釜ヶ崎医療考える会)









# 俺達自身で

## たかがぶとん、とさやち

越冬対策は、病人や疲れた仲間のため、布団を用意している。近頃の値上がりは、越冬対策実行会にも甚しい。去年は一日20円やった布団が、今年は30円の倍り値を払わなあかん。越冬寒の努力が足らんかったせいもあるけど、今年は財政がピーピーの上に、物価が上がるとるから、年を越すのに苦労しそうや。そやから、布団が仲間にいきわたらん。元気なもんは、たき火のまわりで背カンして、苦しんでる仲間がちよっとでも寒ささるよう、ゆずりあつてる。布団は足らん。食い物も、ひもじい腹を満たすことはなげへん。それでもみんなは、助けあいながら、年を越そうとする。仲間を死なせたら、わしらのはいやないが。

## 「ロミをひろえば」

ゆうべの晩、テント村のタキギが足らんかったので、環状線のガード裏までひろいに行った。道ばたにすてある手ごろなヤリをひろっていると、パトロール中のポリがぬかしよった。「こら、おまえ何しとんや。こっちは、すてあるモンを持って行くことすると、二人がかりでつかまえてやる。何すんねん」と

と文句を言うてもダメ。何すんねんも何もアルカ、アホ「ちよっと来い」

「何をどったんや、あんな所を」

「何もかんもあるか。タキギひろてたんやないか」

「ひろってたんやないや。窃盗やないか」

「すてあるもんひろて、何が窃盗や」

「ガタガタ言うな。一晩とまって頭冷やせ」

「なごで、一日フタ箱にとめられ、朝メシも食わしてもらえずホイ、というオソマツ」

## “アニコなんか”

ソフトボールやサッカーの会場に予定していた中学校の校庭は、借りられなくなった。25日、市との話し合いでは、「去年も使ったことだし……、教育委員会に電話しておきましょう」ということだった。ところが26日になって、今宮中の校長が、「ことわってまきよった。10月にホマもあつたことだし……」管理がどうの責任がどうの、と言ひよる。ホヤを俺達がやったことやと決めつけてるんや。アニコになんか、校庭を使わせない、というつもりや。そやから、これみよがしに、あのガンジジョウなへいを、もっと立派なものにするんやそうや。

## オレたち自身のため

物を買えば金がかかり、何かをすればポリがジヤマをする。そして、何かが起これば、みんなワシらのせいになる。この町の、この社会の、こんな空気に、ワシらは負けてはならん。何か問題が起こったときは、誰にもまかせたらあかん。まずワシらの力を解決していくことを考えようやないか。この冬のつらさは、誰によっても解決せえへんで。

いろんな対策の中で、公田のテント村は運営されている。そして、その運営の中に、ワシらの本業の力がためられているやろうと思つて。

### 連載 健康を守る「ロメ」(2)

(医療を考へる会)

重症になるまる気づかぬ肝硬変 毎日毎日、多くの酒を飲むとなる。食欲不振、胃の重圧感、おなかの張りなどの症状がある。重症になるまる気づかぬが血を吐いたり、食べ物をもしたり、下痢したりする。肉・タマゴ・白砂糖など(酸性食品)をできるだけへらし、野菜・海藻・梅干など(アルカリ性食品)をとるようにする。いい食べ物かぼちゃ、黒豆、大豆、なっとう、フ、ほうれん草、トマト、梅干、のり、こんぶ、らっかせい、リンゴ。また、にんにく、トマト、かぼちゃは、ビタミンBが豊富で、消化を助けるので良い。酒は、もちろん減らす。

※「腫痛」の予定でしたが「肝硬変」にしました。次回は、みんなから質問があつたのを「カ」で答へる。



# 電撃ののって相談の

## でいりん会館の正月窓口

きのう仲間の一人が大阪市役所へ行く。新しい事実がわかったが、何しろフザケタものやった。民生局の片山とかいう役人は、エヘラエヘラ笑っただけで、つきりしていることさえワシラには教えようとせん。この馬の骨かわからんやつには教える必要も、義理もないという。片側者や、市民の福祉を憂い文句にしている革新行政も釜にはソッポを向いたのや。

### ★正月窓口開くにも開くが

あいりん会館(あいりん銀行のある所)の一階に更生相談所がある。皆も知っていると思うが、そこへ行けば一応病院とか施設の世話はしてくれる。しかし去年は、ワシラの仲間が一番仕事もなく困る正月にはその窓口を閉めてしまひまった。開けておけといひワシラの声が無視して下りこしたんや。困った者の世話をするのが民生行政なんやから、なんぼ正月やといつてもその窓口を開けておくれのが本当の民生行政といふことや。

今年も、あいりん会館の窓口は無理やから他にどこか相談をうつしける窓口をひくひまの山下を歩いてみた。そこでワシラが「一体どこにうつくるんや」「どこまくと、ユそれなまのたがたの必要あるあじやせん」とぬかしまった。

★ 森之宮の

天六の

民生局が相手にならんで、市職

市(市職員の前住組合)に話を聞きにいくと、今日(28日)更生相の正月窓口をどこに開くか決まるという話を教えてくれた。よく話を聞くと、その窓口は天六の北市民館が森之宮の市立前住組合のどちらかに28日まわがいなく決まるという。交通費も出るらしいが問題なのは、釜の人間の相談窓口をなんで天六や森之宮でせなあかんかということや。ほんとに相談が必要なる人間に、交通費が出せるか、ということや。

もう革新ワシラをするのはやめろ。正月の窓口を釜の中にしつ。あいりん会館の更生相を正月もあひつ。

# モクモクはあつた

モクモク(冬期一時金)交渉が一人一律20000円と決まらなかつた。手帳を持っている人は支給の時間場所に行きつけて必ずしりいってください。

### ★ 取りにいふ時の注意

◎ 期日・時間 29日(朝10時~12時) 30日(夜5時~7時)

◎ 持っていくもの 1. 日産失保手帳(白手帳)

2. ハンコ 3. 写真カード

◎ 場所 救え茶屋山崗校の講堂

日産失保手帳(白手帳)を持っている者(タダシ、27日までに手帳を取った人)なら誰でももらえます。当日は人でいっぱいになるので、すいている時をねらって行ってください。

一時金の西成分会の要求額は一人一万円でしたが、結局こんな少ない額になりました。それはまだ俺達のが弱いから。皆がガンバレば一人、五万円も絶対夢ではない。ガンバロウ。

## 健康を守る「ロメモ」(3)

（医療を考ふる会）

この連載の一回で、私たちは「カゼ」について書きました。それに対して質問があったので、特に「カゼ」を予防するための薬「ロメモ」について……

「ロメモ」の薬は「ロメモ」です。ロメモは、ロメモを飲むことで、また特に「ロメモ」の人は事故が起る可能性が高いので、次に、「ロメモ」その他、「ロメモ」でなく云々している物は、よく効能を「ロメモ」で使った。古いものは使わない。しかし、あまりきかないものが多い。「ロメモ」が「ロメモ」でも「ロメモ」。その他、少々値が高いが「ロメモ」せん「ロメモ」もよい。「ロメモ」300円程度。その人の特徴にあった薬を調合してくれるので、体質などに合わせて、

いいかげんな薬に代わって、みんなを監視して買わないようにしよう。そして「ロメモ」全治するから「ロメモ」を結晶とせよう。次回「ロメモ」(あたのしめ)









1972.12.30. 大晦日1日前号

# えっと

はっこう  
越冬対策実行委員会  
日刊えっと社

## モ子代とペンギン粒

モ子代(冬期一時金)の支給も、今年で二度目になった。しかし、西成分会が「涙をのんで締結した」と「大阪城」に書くように、わずか三三〇〇円しか出なかった。山谷では七五〇〇円、青手帳もろなんか比べて、小づかい銭にもならへん少なさや。

もちろん、一時金要求を満額かちとることは大難なことや。しかし、よう考えてみよう。モ子代が一万円になり、五万円になったりすることが、釜ヶ崎の問題が、ほんまに良くなることにつながるのやろか。早い話、モ子代が百万円になり一千万円になったら、それ我々、山谷、釜ヶ崎最下層訪中団は、上海で「少年宮」を参観訪問した。その時、私の手をつなぎにきた少年と、約三時間のつきあいをした。「君は、この少年宮に選ばれて入ったんやうか?」「いいえ。希望者の中から抽選で入ったんです」「じゃ、大人になれば、どんな方向に進みますか?」「それは、人民大衆と毛主席と党がきめること。人民に奉仕してこそ、社会主義社会がなりたつのです」と、以上の会話をした。これがQオの少年の口から出た言葉なのだ。

中国の子供は、一筆が万筆こんな状態だ。ものおじしない。恥ずかしくない。他人のことを考える。こ

## じかたび訪中団

### 1分中国の少年の話

で、ほんまに俺達の世の中になったことになるのしるか、ということや。「一千万円もモ子代が出るわけないやないか」と、仲間はずうやろ。そのとおりや、出るわけあらへん。モ子代だけやのうて、権利とかいうもんは、かちとったもんやと思ても、ほんまは権力が与えてくれていることが多い。権力に余ゆうがあればあるほど、権利やモ子代はふえていくやろ。せ二の話をしたら、またない話になることがようある。せ二の貸し借りでいざこざが多いんも同じことや。なんでそうなるんかというや、ほんまはせ二のために働き生活してるとちやうのに、せ二がないとどないしようもない世の中やからや。日産いぐらしの姿が、少年宮にかぎらず、多くの場所で見られた。日本の子供はどうか?—勉強を半ば親が強制し、理想を持たず、出世ばかりを考え、スケールが小さい。少年宮であった少年は、別れしな、小さな手に力をこめて「再見」「再見」とあく手し、私が車に乗るまで私の身体にさわっていた。ちぎれるほど手を振り、別れをおしむ彼の身体の上から、彼の両親の姿がにじみ出るような気がした。父親は、建設労働者であり、母親は、道路掃除をやっているそう。このことを聞いて、差別のある日本では考えられないほど、中国では、職業・人種では、一切差別がないことを確認した。次回は、そのことを話す。

の俺達にとって、冬の三三〇〇円は死の問題や。ちょっと無理したら、一週間はしのげる金やないか。それからこそ、その一時金すらもらえん、手帳を持ってへん仲間にとって、冬は手帳もちよりもずっときびしいもんになる。

## モ子代はまぶさだけ

西成分会の人はジャマをしないことが自分のためです。

一人一律 3200円。手帳を持っている人は、時間・場所に応じて、必ずとりにいこう。

★ 時間 きょう(30日)朝10時〜12時 夕方5時〜7時

★ 場所 萩之茶屋小学校の講堂

★ 持って行くもの 一、日産失保手帳(白手帳) 二、ハンコ 三、写真カード

余ゆうのある人は、少ないモ子代ですが、その中から、いくらでもけこうです。困っている仲間のための越冬対策にカンパをお願いします。他人を救うことは、いつか自分が困った時に役立つということ。この世の道理です。この道理にかなうカンパに対して、









こいつで、お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんな、えっとろ社、おめでとう。

お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんな、えっとろ社、おめでとう。お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんな、えっとろ社、おめでとう。

お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんな、えっとろ社、おめでとう。お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんな、えっとろ社、おめでとう。

お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんな、えっとろ社、おめでとう。お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんな、えっとろ社、おめでとう。

業者が正月のこの機会に行動者へ利益を渡すの  
は、さかえぬところだ。だが、それをきいて、行動者  
へ利益を渡すところ、このおぼろげな感じだ。

昨夜のこのおぼろげな感じ、行動者へ利益を渡すの  
は、さかえぬところだ。だが、それをきいて、行動者  
へ利益を渡すところ、このおぼろげな感じだ。

北京郊外黄土崗中国友好人民公社を訪問してましまし  
た。人口三五〇〇〇人、面積三〇〇〇ヘクタール。こ  
こには十一生産大隊があり、一大隊が十生産隊に分か  
れている。私達は、わけぎの温室栽培を主としている  
一生産隊を訪れ、その分隊長のお母さんに話をうかが  
った。

### 3 人民公社と解放前の生活

希望ある人生に目を輝かせながら、衣食住や医療、  
息子夫婦や孫との生活、人民に奉仕のできる仕事のこと  
などを話された。しかし、これに至るには、難しい  
道があったそうだ。解放前の苦しい生活のことである。  
封建制度の土地主から収奪を受け、子供六人中二人

を栄養失調でなくしたことで、病に倒れても治療もなく死  
んでゆく人々、家畜にもおとる食卓、自殺を何度も考え  
たことなど。彼女は、このことを思いおこす時、階級敵  
に対する怒りに身をふるわせ、「おぼろげな感じをふり上げ、目に  
涙をためて語った。そして、自分達が、解放戦争で勝利  
に向かったとき、二人の子  
供は、人民のために英雄的に戦って死んだ。人民公社の  
生活は、過去の苦しみと、勇敢な闘いの上に築かれたも  
のである。  
大躍進運動によって、人民民主主義独裁を実現するに  
めの人民公社は生まれ、人民を改革し、発展している。

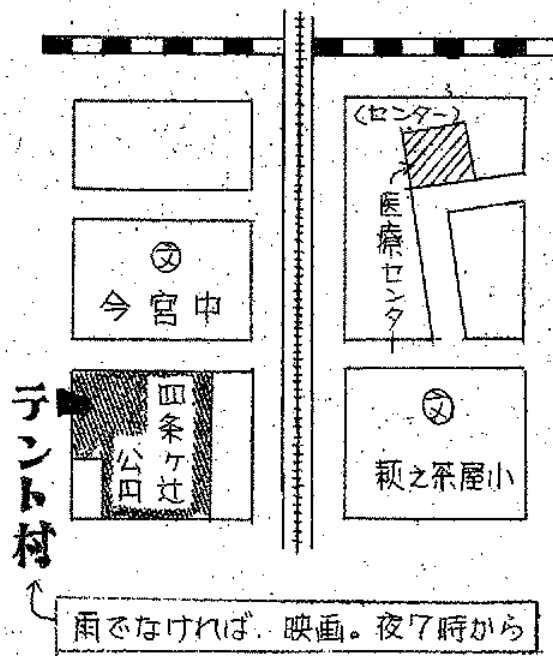
お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんな、えっとろ社、おめでとう。お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんな、えっとろ社、おめでとう。







# テント村 スモウ大会 12時より



おっちゃん  
連中が、若いもんより強かった。  
街のなかでブラブラして、オモロイことな  
ったら、みんな運動してみようやないか。  
冬の寒いときや、カ一杯ぶつかりおうたら、  
体ぬくもって、さっはりするぞ。



釜の仲間が、ええ足纏して  
から、めっぽう強いのはっ  
かりや。去年のすもう  
大会では、特に

## いっしょにもちつき(ぎのうのき)もやるぞ

### テント村で雨のこ

★キノのうは、昼ごろから雨が降り出して、テント村も大変だった。特に、夜になって、雨はきつうなるし、弱ってやって来る仲間もふえた。テントで寝る人数は限られてるので、仲間同士めずり合うてすしした。弱ってる仲間がテントを寝て、元気なもんは別のテントでたき火を囲み、もっと元気なもんはパトロールに出た。そんな姿を見て、支援の労働者たちも、こんな仲間がなんぞ苦しまなめかんのやと、社会に対する怒りを、さらに強めたという。

★ テント村の仲間がふえてきて、炊き出しは目のまわるような忙しさを。キノのうは、中心になって頑張っていた仲間が、とうとう倒れてしまった。忙しさをみんながぶってしもたからや。越冬は自分のためにやってるんやから、気のついたことは、自分でやろうやないか。困ってる仲間も実行委のメンバーも倒れんように協力しようやないか。

★ キノのう、テント村から森の宮の無料宿泊所へ行った仲間が、朝三三人、昼一人、夕方三〇人弱。更生相の窓口やのうで「救世軍」やけど、とにかく泊る所とメシは保証してくれる。また、医療センターが正午から二時まで開いている。三日目は医療券なしで診てくれるし、「自費診療」に泊まれるようになった。森の宮へも、医療センターへも、テント村からまとまって行くことになってる。

### 暴力団と警察

★ キノのう、三日公田でバクチさせ、ていた。日頃から取締りの度、新聞にテカテカと宣伝をして、警察の本拠の仲間が、このころ、派出所へ聞きに行った。すると、「正月から、ええせなかして、この返事。どいせ、そんな事さびの思ってたが、暴力団の資金源になって、この大知りながら、見逃すのだから、警察は暴力団とタレになって、この大目撃したんだ。困らせとわれた暴力団、企業と一体になった暴力団、互いにええ兄弟や。警察と暴力団がタレになっても、俺達働く仲間の方が数多り、俺達が物を作って社会をささぐること変じはめらん。所詮、生虫は、それだけの役割いせ。

◎ 山谷の闘う仲間が、共に越冬闘争をやりぬこう、という激励電報が届いた。

▼ したすねびと 藤川敏晴さん 大島松雄さん

昨日の昼、医療センターで手当をしてもうったあと、宿泊券と薬をお持ちにならずに帰られました。医療班であずかっていますので、取りにきて下さい。

▼ 森の宮の救世軍無料宿泊所に行かれる人は  
朝九時半 医療センター前に集まって下さい  
▼ 医療センター(宿泊券つき)に行かれる人は  
朝九時半と一時五十分 医療センター前に





## 俺達は団結を強め、冬を越し、闘へ。

### 責任を放棄し、俺達を具殺した市民生局に、抗議の声を

俺達の団結を強め、冬を越し、闘へ。責任を放棄し、俺達を具殺した市民生局に、抗議の声を。市民生局の責任を放棄し、俺達を具殺した市民生局に、抗議の声を。市民生局の責任を放棄し、俺達を具殺した市民生局に、抗議の声を。

市民生局の責任を放棄し、俺達を具殺した市民生局に、抗議の声を。市民生局の責任を放棄し、俺達を具殺した市民生局に、抗議の声を。市民生局の責任を放棄し、俺達を具殺した市民生局に、抗議の声を。

市民生局の責任を放棄し、俺達を具殺した市民生局に、抗議の声を。市民生局の責任を放棄し、俺達を具殺した市民生局に、抗議の声を。市民生局の責任を放棄し、俺達を具殺した市民生局に、抗議の声を。

市民生局の責任を放棄し、俺達を具殺した市民生局に、抗議の声を。市民生局の責任を放棄し、俺達を具殺した市民生局に、抗議の声を。市民生局の責任を放棄し、俺達を具殺した市民生局に、抗議の声を。

## 大阪市民生局の責任を放棄し、俺達を具殺した市民生局に、抗議の声を。

大阪市民生局の責任を放棄し、俺達を具殺した市民生局に、抗議の声を。大阪市民生局の責任を放棄し、俺達を具殺した市民生局に、抗議の声を。大阪市民生局の責任を放棄し、俺達を具殺した市民生局に、抗議の声を。

### アプル貸

1.2.3と4田の  
4田に出ます。

760×4=3,040円

人数が多いので、支給は  
午前と午後あるでしょう。

